

## ほたる祭りについて

諸田 兼隆

僕は毎年ほたる祭り、水中生物体験学習会、ホタル保護キャンペーンに参加しています。それから、ホタルを家族で見にいきます。ほたる祭りではお客様の案内、ホタルやカワニナの説明、散策道のゴミ拾いなどをお手伝いしました。そして、ホタルのすめない環境は人間に対しても悪い影響があると思います。一人一人が水を汚さない努力をして宮田のホタルがいつまでも飛んでほしいと思います。これからも僕はホタルの里の行事に積極的に参加をしてホタルがいつまでも見られるよう頑張りたいと思います。



## ほたるの棲める環境

津久井大貴

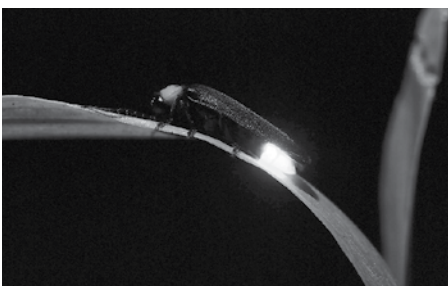
僕がほたるの活動に参加したのは小学1年生の時です。その時はホタルはとても身近な生物だと感じていました。しかし最近では環境問題や水質汚染などが問題になっています。昔は赤城町どこでもホタル観賞が出来、素晴らしい環境が保たれていたと聞きました。宮田にたくさんのホタルが生息しているので赤城町ではホタルのすめる環境が少なくなっている事をしりませんでした。宮田のホタルはとても貴重な生き物です。これからも大切に保護活動していきたいと思います。



## 私が取り組むECO活動

茂木まどか

私の通っている学校では、地球温暖化防止のために「ペットボトルキャップ」や「プルタブ」を集めています。それは、クラスごとに集め、1・2・3位のクラスに賞状がもらえるのです。一人一人がECO活動に参加する事ができるのです。このように直接地球温暖化防止につながる事ではないかもしれませんが、私たちの活動はとても小さな一歩です。でも少しでも役にたてれば良いとおもいます。また、これからの活動が間接的だけど、ホタルの棲みやすい環境につながってくれば嬉しいです。



## ★ WILD CREATURES



南中3年 総合学習発表(2009年12月)

## ほたるの棲みやすい環境について

諸田 舞

今現在の地球環境は、住みやすい環境と言えるのでしょうか?地球温暖化、水質汚染、森林伐採などの環境問題は、人間にとって悪影響です。ところが、このような環境問題は一向に改善されずに悪い方向に進んでいます。そして異常な温度の上昇などは年々ひどくなっています。人間が住みにくい環境というのはホタルも同じ事なのです。それならば住みやすい環境を作ってあげるのが私たちの役割ではないでしょうか。割ばし、紙コップ、使い捨てマスク、など使ったら直ぐに捨ててしまうのは人間にとっては便利で良いことかもしれませんが環境にとってよいことはありません。だから「エコ活動」というのがとても重要になってくるのです。

一人一人がエコを心がけていくことで、環境が少しでも守られるようになるのなら、それはとても簡単なことではないでしょうか。「自分くらいやらなくてもいいやー」という考えを持った人が大勢いればダメになってしまいます。一人一人の心がけがホタルのすみやすい環境になり私たちにも住みやすい環境になるのです。

みんなでホタルを守っていきましょう。

## 宮田ホタルの里を守る会 会員として

津久井朝美

私が宮田ほたるの里を守る会の会員として楽しみにしている活動があります。それはほたる祭りです。

ほたる祭りではほたるを守る会のこれまでの成果がはつきり、見に来てくれた方々に感謝され「宮田のホタルは素晴らしいね」と言ってくると本当にうれしいです。今年のほたる祭りもたくさんの方々に来ていただきました。来年も今年に負けないようにたくさんのホタルをみせたいです。そのために草刈り作業やカワニナ捕獲放流会などに参加して頑張りたいです。



南中3年総合発表・ほたる会員参観(2009年12月)



南中3年総合・会長に取材(2010年8月)